

SLXDseries 周波数合わせ手順

○受信機の名義



赤外線受光部

syncボタン

コントロールホイール

電源ボタン
長押しにてON/OFF

イーサネットポート

補助出力端子

電源ポート

XLR音声出力端子



アンテナコネクタ
A/Bどちらも挿してください

1.グループ・チャンネルを指定する場合

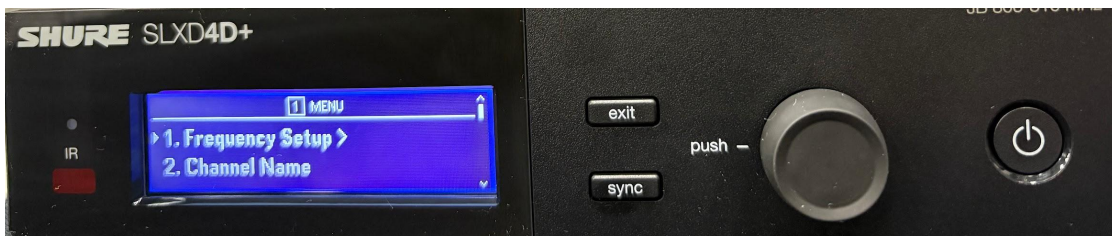


コントロールホイール: 以下①

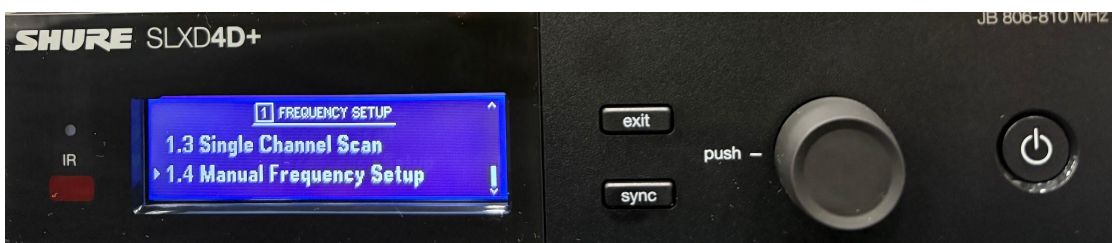
- ・押し込む: 編集項目選択
- ・左右に回す: パラメーター値を編集



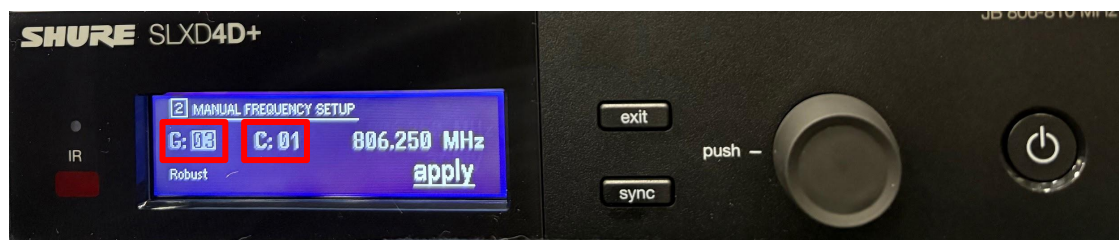
①を左右に回し、変更したい受信機チャンネルの位置で①を押し込む



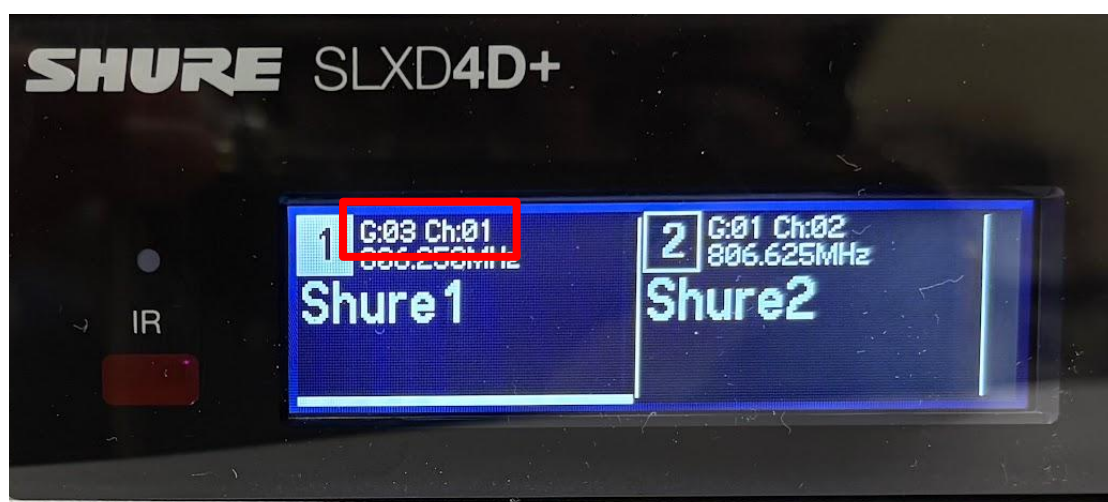
MENUが表示されるので、「1.Frequency Setup」を選択



「1.4 Manual Frequency Setup」を選択



任意のG(グループ)、C(チャンネル)を設定し、apply

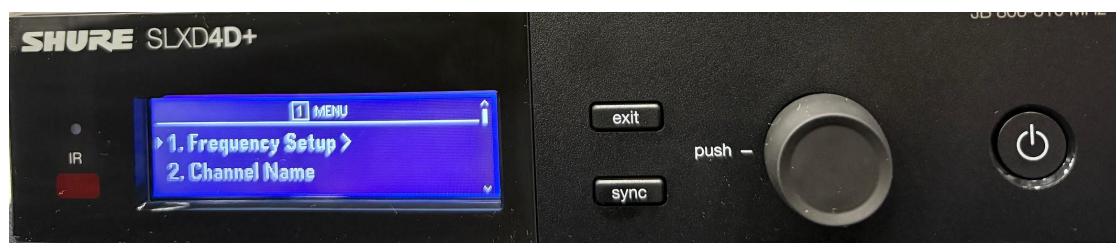


ホーム画面で変更されているか確認

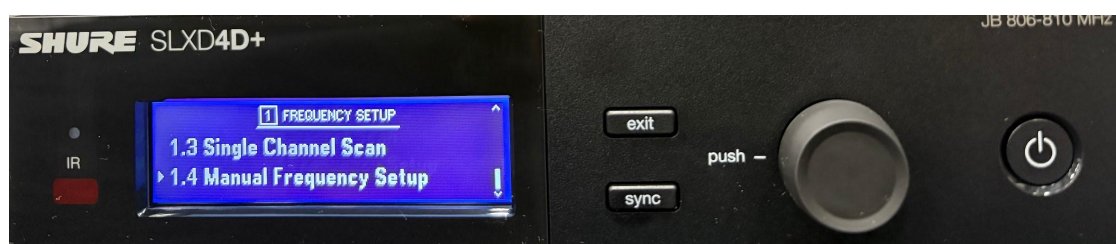
Point

周波数の干渉を防ぐために、同時に使用する送信機はグループを全て同じにし、チャンネルを変えていただくことをおすすめします (同グループ異チャンネル)

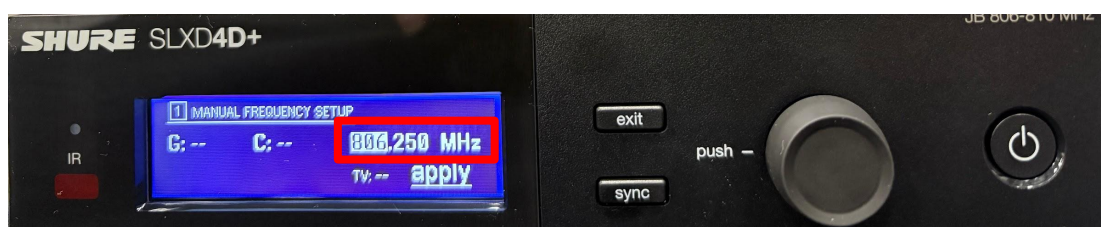
2.周波数を指定する場合



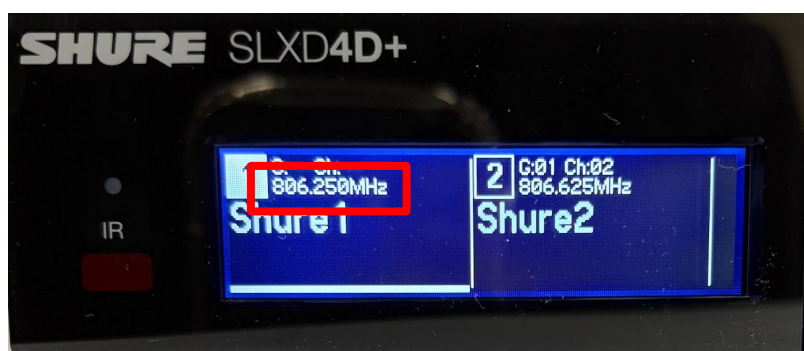
MENUが表示されるので、「1.Frequency Setup」を選択



「1.4 Manual Frequency Setup」を選択

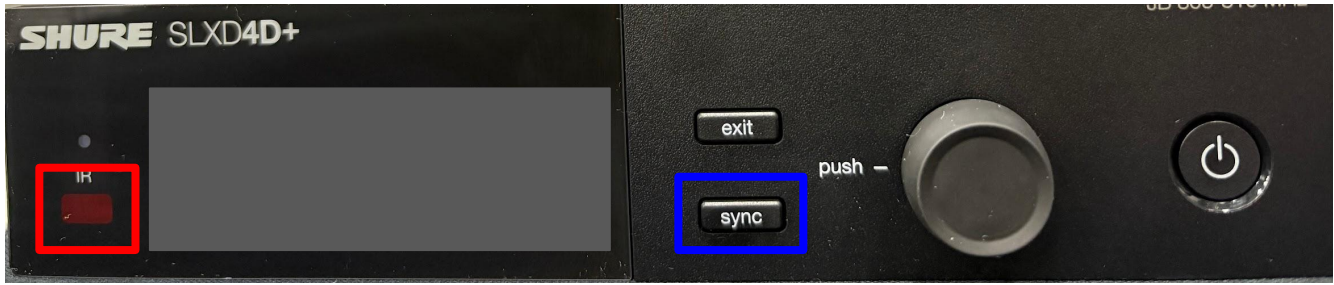


赤枠部分の帯域を任意の数値に設定
→apply



ホーム画面で変更されているか確認

3.ペアリング方法



ハンドマイク



トランスミッター



側面

 は赤外線受光部

 はsyncボタン



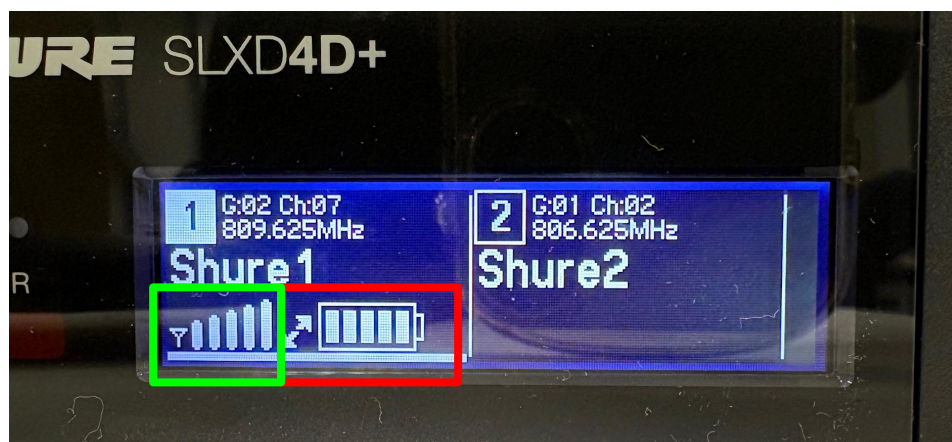
1.受信機側のペアリングしたいチャンネルにカーソルを合わせた状態で、syncボタンを押す
点滅: 赤外線(IR)同期モードが使用可能

2.受信機と送信機の赤外線受光部を向き合わせるとペアリングされる

3.1 ペアリングに成功すると



送信機には、ディスプレイ左上に矢印が表示される



矢印と送信機のバッテリー残量が表示される



送信機の電波強度

※誤ペアリング防止のため、他送信機の電源はOFFの状態を確認をお願いいたします

トラブルシューティング

1. 音が出ない

アンテナが外れている、または送信機と同期が取れていない可能性があります。アンテナが本体背面のアンテナ入力端子に正しく挿さっているか確認してください。また、送信機との同期については本手順書の **3.ペアリング方法** をご参照ください。

ディスプレイに「Interference」と表示された場合は、複数の送信機が干渉している可能性があります。周波数が被っているチャンネル、または周波数を変更してください。



2. 音が途切れる

他の電波が干渉している可能性があります。周波数が被っている送信機のチャンネルまたは周波数を変更してください。また、送受信機の距離が離れすぎていると音が途切れる場合があります。(公称値、見通し約 100m到達可能だが環境によって到達距離は変動あり)

3. 何を設定したかわからなくなってしまった

設定が分からなくなった際は、システムリセットをすることで工場出荷時デフォルト設定へ戻すことが可能です。

1. 受信機メニューから「5.Device Configuration」→「5.5 Factory Reset」→コントロールホイール押し込み (Enter)→再起動
- 2.G(グループ)、C(チャンネル)がG1:C1に戻るため、改めてグループとチャンネルの設定をし、ペアリングをお願いいたします。